

船舶事故調査報告書

平成22年7月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成21年8月25日 04時05分ごろ
発生場所	佐賀県唐津市馬渡島 ^{まだら} 肥前馬渡島灯台から真方位026° 1,900m付近 (概位 北緯33°34.8′ 東経129°46.3′)
事故調査の経過	平成21年8月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{やすふく} 安福丸、4.9トン SA3-24365（漁船登録番号）、個人所有 12.65m(Lr)×2.64m×0.84m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数90、平成10年7月8日
乗組員等に関する情報	船長 男性 49歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和54年10月12日 免許証交付日 平成19年6月27日 (平成25年6月17日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	船体が大破し、全損
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、長崎県壱岐島西方の漁場でいか一本釣り漁を行ったのち、平成21年8月25日02時30分ごろ佐賀県加部島に向けて帰途についた。 船長は、背もたれの付いた操縦席に腰掛けて遠隔操舵装置による手動操舵に当たり、13～14ノットの速力（対地速力）で長崎県二神島北方沖を東進中、眠気を感じるようになり、二神島灯台から070°（真方位、以下同じ。）5.7海里付近で、針路を波戸岬灯台と松島の間に向く約114°として航行を続けているうち、居眠りに陥った。 本船は、北方からの風と波により右方に圧流されながら航行し、04時05分ごろ馬渡島北東岸の岩場に乗り揚げた。 船長は、携帯電話で親族に連絡して海上保安部への通報を依頼し、救助を待っている間に本船が転覆したため岩場に乗り移り、06時20分ごろ来援した海上保安庁のヘリコプターによって救助された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：波向 北、波高 約2m、潮汐 下げ潮末期
その他の事項	出航時、本船の喫水は、船首約0.4m、船尾約1.5mであった。 船長は、ふだん夕方に出港して、翌日の早朝に帰港し、07時から12

	<p>時ごろまで睡眠をとっていた。</p> <p>本事故前、8月17日から22日まで出漁して、23日は午後から農作業に従事して休漁し、7～8時間の睡眠をとった。翌24日は、06時ごろ起床して08時から17時ごろまで農作業に従事し、17時30分ごろに出港した。</p> <p>船長は、航行中に眠気を感じたとき、いつも操舵室の天窓から顔を出して外気に当たり、眠気を覚ますようにしていたが、事故発生当時は、風と波が強く、天窓を開けるとしぶきが操舵室に入るおそれがあったので、操縦席に腰掛けたままで操船を続けた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、夜間、二神島東北東沖を東南東進中、船長が居眠りに陥ったため、風と波に圧流されて馬渡島に向け航行し、同島北東岸に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本事故前日からの覚醒時間が長く、睡眠が不足していたこと、及び背もたれの付いたいすに腰掛け、居眠りに陥りやすい姿勢で操船に当たっていたことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が二神島東北東沖を東南東進中、船長が居眠りに陥ったため、風と波に圧流されて馬渡島に向け航行し、同島北東岸に乗り揚げたことにより発生したのと考えられる。</p>	